



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.70
2016年 5月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

ついに雨到来！！

皆さんこんにちは。先月カンボジアでは水不足が深刻だとお伝えしましたが、5月に入り、待ちに待った雨が降り始めました。貯め池の水位も少し上昇し、農場全体が生き生きとした緑色に様変わりしてきました。新緑の息吹を感じながら今月の報告をお送りしたいと思います。



4/29 雨が降る前のレモングラス畑



5/19 雨の降った後のレモングラス畑

◇雨到来

上にも書きましたが、5月に入って雨が降り始めたため、レモングラスの状態が改善してきました。乾期の頃に比べて収穫量はぐっと増え、ポンプを使って水をあげずに済むため、燃料費もかかりません。こう書くと良い事だらけの雨ですが、困ったことも起きてきます。カンボジアの雨は突然降り始めるため、現地のスタッフでも予測が難しいです。ついさっきまで太陽が出て明るかったのが、黒い雨雲が出始め冷たい風が吹くとすぐに雨が降り始めます。逆に雲が近づいてきているので外作業を切り上げると降らないこともあります。雨が降っている間、スタッフの仕事がなくなるのを防ぐための対策として、雨は午後から降ることが多いので午前中に多めにレモングラスを収穫するようにしています。帰り際に雨が降ると、スタッフがなかなか家へ帰ることが出来なかったり、雨具を持っていなかったのか帰り道でずぶ濡れになり、体調を崩してしまうこともあります。他にも農場内の道がぬかるみトラックが抜け出せなくなったり、風が強すぎて木が道に倒れたり、倉庫の屋根が吹き飛んだりなど良いことだけではありません。それに雨を待っていたのは私達やレモングラスだけではなく、雑草達も一斉に芽を出し、どんどん大きくなっていきます。長い間待ち望んでいた雨ですが、一喜一憂する日々が続きます。



レモン Grass の採り方を教えるチャンダーさんと作業する農家の方



大きな株の集まりから苗を手で分けていきます



手前からホーリーバジル、ローズマリー、オクラ

◇農家さん向け講習会

毎月、自分たちの勉強も兼ね地元の農家の方向けに野菜やレモン Grass の栽培についての講習会を開いています。今月は3月に農家の方たちと一緒に作った堆肥の経過観察と、レモン Grass の苗を作る作業を一緒に行いました。まず最初に堆肥場に向かい、堆肥を見てもらいました。堆肥の山を切り崩して、原料として積んだ鶏糞とレモン Grass の残渣が、発酵が進んで土に近い状態になっていることを確認してもらいました。

次にレモン Grass の苗を作る作業です。苗は2~3年経って大きく成長したレモン Grass の株から取ります。3年以上経過すると、レモン Grass の収穫量が減ってくるためです。まず全員で畑に行き、レモン Grass を根っこと鍬で掘り起こしました。そして作業場まで運び押し切り機という大きな鉋のような刃がついた切断機で、根から30cm ぐらいのところで切断します。葉っぱの部分も捨てずに精油やお茶の原料として使用しています。根の部分はそのままでは株同士がくっついているので、手で1本ずつ分け、枯れた部分を取り除き苗にします。この苗を畑に3~4本ずつ根っこから10cm ほど挿し、根が土に活着すれば新しい芽が生えて大きくなっていきます。雨が降らなかつたりして逆に根が土に活着しなければ枯れてしまいます。そのため雨季が始まる6月頃が苗を植えるベストのタイミングになります。

◇ハーブ、オクラ種まき

5月に入りホーリーバジルとローズマリー、そしてオクラの播種を行いました。ホーリーバジルとローズマリーはレモン Grass 以外の精油の原料候補として今年試験栽培します。試験栽培の結果が良ければ、レモン Grass の次の精油原料として栽培を本格化し、レモン Grass 以外の精油も販売、拡販できるようにしていきたいと思っています。

オクラは当初、精油の生産に力を注ぐため栽培しない予定でした。しかしプノンペン業者様から有機野菜を出荷してほしいとの依頼があり、管理の難しい乾季以外の雨季の間だけ作付けを行うことになりました。8月からプノンペン業者様に出荷できるように準備に取りかかりたいと思います。